



J.M.J.A. News

2006年9月1日 第3号

日本マスターズ柔道協会

〒157-0063

東京都世田谷区粕谷3-30-1

電話03(3326)3333

FAX 03(3305)7301

http://jamja.hp.infoseek.co.jp/

発行 会長 野口宏水

日本マスターズ柔道

第8回世界マスターズ柔道フランス大会 古都トゥール市に1500名が熱戦を展開

来月 岡山で会いましょう
第三回日本マスターズ柔道大会

10月13〜15日 岡山武道館

(開催要項は12面に)

quante
la
ompte.
meure,
lui

les cham-
nonde mas-
ous avaient
leçon. Mais
, et chacun
la perfection
a.
utre histoire
es combats.
anciens, la
t avec les ca-
és : plus de
nes, plus de
es.
ier que c'est
surprenant,
ahurissant



Deux Japonais en finale des plus de 70 ans (- 73 kg) et un vrai régal pour les yeux : ils n'ont rien perdu de leur technique.

ganisation a
« La grande
championna
qu'il y a la pr
bien des mée
ce n'est pas l
des combats
plaisir. Ils so
l'esprit du ji
tent. »

La pres
le plé

C'est une c
tion n'est pl
à partir d'un
preuve est bi
de raisons d
Ce que la I
n'avait peut
ment intégré
temps.

« Alors qu
championna
plique le C
chaud. Ces
âges, c'est d
encore dans l
On ne s'éti
les Japonais

(仏)ラ・ヌーヴェル・レピュブリック紙6月29日号スポーツ面トップで本大会、特に日本人高齢者の柔道を絶賛して報道。写真はM8、60kg級決勝戦(勝呂対興梧)

行って来ました！第8回世界マスターズ
フランス・トゥール大会へ！

参加団团长 野口 宏水

「生涯柔道を通しての草の根外交」本年第8回はヨーロッパの中心 フランスの古都華麗な歴史が潜むトゥール：への呼びかけに応じて参加されたのは、既に今までの大会に参加した28名のリピーターに加えて、17名の新規参加者が、更に苦楽を共にした応援団16名をプラスすると総勢61名の多数があつた。トゥール市民スポーツ・センターにその足跡を印しました。

6月27日〜7月1日の形・試合の大会に出場。我が日本マスターズの面々はそれぞれが今まで自身で作り上げた全てを懸けて出場。メダルや勝敗は相手のあること故。本意・



大会初日、形競技で女性陣が大活躍、メダル・ザクザク
(トゥール市スポーツ・センター大会場前)

不本意は常にあるものの、短い時間を精一杯過ごしたという何物にも代えがたい大きな「生キテイル」！満足感を心身に沁み込ませて帰って参りました。
大会終って、独特の緊張感から開放されると、それだけに更なる満足感は大きく広がった。

て参ります。数多く散在する世界遺産の数々：本やテレビで見たモンサンミッシェル、ロワールの城の数々、サンテティエンヌ大聖堂、リヨンのフルヴィエールの丘、アヴィニオンのサン・ヴェネゼ橋

「アルルの女」の年に一日午前中だけの衣装祭行列、ポン・デュ・ガール水道橋、ゴッホの跳ね橋、ニースの丘の上から見る砂浜の海岸：夢かおとぎばなしが、異国、宗教、歴史、石造建築、悠々たる大河の流れや大平原等々

が現実、我が目の前のありました！
ロワール・ジュード・クラブ道場とル・セルクル・スポルティフ・ドゥ・ジュード道場にての、共に柔道：生涯柔道：を楽しむ稽古と友情の交歓会は、更なる充実感であり、加えて、日本国の誇りと威信を世界に向かって発信さ

れておられる大使館、文化会館の別世界を我が目で垣間見るのはまた今回の成果でありました。
終わりにあたり、早速に会員便りをお寄せて頂いた各位

と、類い稀な編集・発刊に漕ぎつけられた永島理事に有難く厚く御礼を申し上げます。

第8回世界大会

メダリスト

形（取右・受左）

試合

銅				銀				金			
柔	極	古式	固	柔	極	護身	柔	古式	固	柔	古式
女子	男子	女子	女子	男子	女子	女子	男女	女子	女子	女子	女子
大宮民子	今立篤子	清家春夫	石邑勇	黒田美千子	今立篤子	黒田美千子	大森千草	堀 甲子男	横山悦子	大森千草	横山悦子
永島健次郎	大矢秀昭	大宮民子	黒田美千子	今立篤子	黒田美千子	大森千草	堀 甲子男	横山悦子	大森千草	堀 甲子男	横山悦子
片桐清司	来田 武	永島健次郎	鬼柳一宇	中村茂晴	相田盛良	大塚治城	興梠重徳	中島 忠	川久保精祐	安河内浩	今立篤子
58 61	66 68	66 68	66 68	55 64	64 64	64 64	66 66	66 66	66 66	74 74	74 74
MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM
6	7	8	8	6	7	7	8	8	9	9	10
81	73	60	60	73	60	81	60	66	73	73	66
kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級



大会2日目M5～M11、F4～F8の試合を終わって全員で（第一試合会場）



写真右上 サンテティエンヌでの合同稽古後の野外での懇親会写真上 左からベッソンJF理事、アルピュス館長、安本名誉副団長、野口団長写真下 パリCSDJ道場で合同稽古を終わって



ツアー最終日 飯村大使を囲んで (在フランス日本国大使館で)

野口会長に寄せられた お手紙から

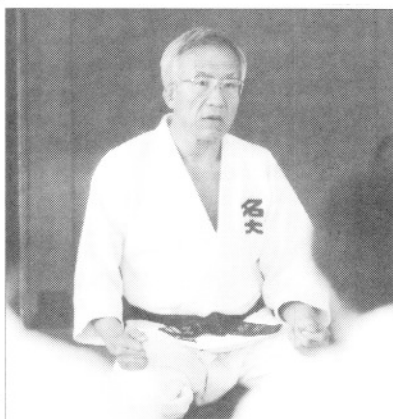
① 愛知県から

拝啓、梅雨の候、益々ご清
祥のこととお慶び申し上げま
す。
過日はツールでの世界マス

ターズ柔道大会ではお世
話になり有難うございま
した。十分な暇が取れず
途中で参加しましたが、
7月2日に講道館で全国
国立大学柔道大会と全日
本医師柔道大会とがあり、
両方に参加しなければな
りませんでしたので皆様
より早く帰ってきてしま
いました。全日本医師柔
道大会も20台から80台ま
でマスターズと同じ年齢
順に試合が行われますが、
20台、30台は中量級以下
と重量級に分け、40台以
降は前期・後期に分かれ
体重は無差別です。出場
選手は往年の気違いばか
りで、女子も2名出場して
います。全柔連の医科学委
員会の仕事とか、アンチドー
ピングの仕事とか、国体や
地元の大会の救護活動とかボ
ランティア精神に富んだ人達
の集まりですが、1年に一度
会って健斗を称えあっていま
す。最高齢者は83歳の佐藤忠
敬先生(富山県)ですが、70
歳台時代までは松林富士男先
生の好敵手でしたが、現在は
相手がいなくて不戦勝を続け
ておられます。マスターズに

も出るように皆に話しておき
ました。

さて、会場で謹呈賜りまし
た「一本足柔道」は帰りの飛
行機の中で読破し、英語の方
も読んでみましたが、これは
英語力の上達に非常に役に立っ
たのではないかと思います。
実は地元でもあちこちに配っ
ていますので、若者の教育上
極めて有益な本であることを
再度強調して宣伝してみたい



名古屋大学の柔道場で、二村教授

と思います。

私は学生時代、岡野好太郎
十段(旧六高師範)と小坂光
之介先生(旧 四高柔道教師)
の両先生から六高と四高の両
方の高専柔道を学ぶチャン
スに恵まれました。小坂先生に
は大学卒業後も30年間の間ずっ
と習って参りました。小坂光
之介先生の高専柔道のDVD

と遺稿集「柔道と私」(私の
5年後輩の木村君が編集)を
同封致しましたので、何かの
機会にご利用いただければ幸
いです。また、昨年5月に第
105回日本外科学会学術集会を
名古屋で開催しました際に山
下泰裕先生をお招きして「国
際化時代における柔道の果た
す役割」という講演をしてい
ただきました。非常に有益な
お話を聞くことができ、学会
員には大変好評でした。

この時の様子もDVDに
収録することができまし
たので、皆様にもお楽し
みいただけたら有難
く思います。

私は来春定年退職を致
しますので、本業の方も
柔道の方も一区切りをつ
けようかと思つています。
柔道部長は21年間、師範

を5年間続けましたが、後任
の目処をつけ、後はもう少し
リラックスして好きな柔道の
方は底辺拡大の方へ少し力を
注ごうかと思つています。

マスターズの方へはどれく
らい参加できますかはつきり
しませんが、昨秋初めて皆様
の仲間入りをさせていただき、
新しい世界に接することがで

きたことを喜んでいきます。ま
たの機会にお世話になること
もあるかと存じます。どう
かよろしくお願い申し上げます。

時節柄、ご自愛下さいます
ようお祈り申し上げます。

敬具

平成18年7月10日

名古屋大学柔道部長兼師範
名古屋大学大学院腫瘍外科学
教授

二村雄次

② 宮崎県から

拝啓 時下益々ご清栄のこ
とと存じます。

さて第八回世界マスターズ柔
道大会は、無事終了し日本は
多数のメダルを獲得できまし
たこと、出場者の一人として
大変喜んでおります。

私にとりまして国内の高段
者大会を除けば、選手として
の大きな試合は、40年前に宮
崎県一般男子団体の学生代表
として、旭化成の選手と共に
出場した第21回大分国体とそ
の直後の第一回九州学生紅白
試合出場以来のことです。40
年前は、体重別選手権の始まっ

た頃で、柔道の審判規定が大きく変わり始めた時期でもありました。小中学生に柔道を教えると言うことでは、宮崎市内の所属道場である明道館で数年前から稽古を再開しましたが、今回の緊張感のある試合では、さらなる稽古と国際ルールの試合に慣れることの必要性を深く感じました。自分の仕事と柔道は、私の人生の両輪として今後も続けて行きたいと思っております。これを契機に高段者大会だけでなく、マスターズ柔道大会にも出場する心がまえます。



エッフェル塔の前で、山田ご夫妻

フランスでの旅は短期間でしたが、香港経由の北回りのキャセイ・パセフィック航空のジャンボ機で、満席でした

2006年7月8日

山田雅弘

(有)山田水環境研究所代

敬具

は、上京の予定です。私の仕事の自己紹介として、小論文を同封させて頂きます。改めて、私には今回の試合は反省点の多い試合で御座いました。今後とも宜しくお願い致します。家内からも奥様に宜しくと申しております。気候不順な折、ご自愛のほどお願いします。

表取締役 農学博士 地球環境研究調査委員会運営委員

③ カリフォルニアから

(原文 英文)

謹啓

一寸遅くなりましたが、君はトゥール大会に参加しなかったのだと思っております。

7月18日現在、大会結果はやつと形のみ世界マスターズのネットに載っていたものの、大矢さん、相田さんのお名前は見たけど君の名前は見たらないし、君は出場したのか、試合のみに出たのか？

私は5月13日心臓発作に襲われて二週間経って漸く、ゆっくりゆっくり食べ始めて次のブラジルを目指して良くなりつつあるところ。

今晩はじめてコワゴワと柔道着を付けました。医者が言うには発作は当初深刻な状態だったけど、今はダメージは残らないだろうと。自分も今ではホッとしている。

君も病気で行けなかったのではないか？

もし、君の返事がなければ、

明日リズ・ローチに聞くことにしよう。

君は大事なかったことと思っている。君とか大矢さん、森本先生、高橋さんに今回えなかったのは淋しいが、ブラジルでは皆さんと会えるものと期待しています。



左から二人目がリッスル氏 (第7回トロント大会で金)

皆さんにトゥールへ行けなくて申し訳ないと伝言して下さい。そしてブラジルには必ず行って皆さんに会いたいものと念じています。

2006年7月18日

ラルフ・リッスル

謹白

会員便り

第八回世界マスターズ

長崎 桂子

(理事 石川県)

トゥール大会の参加を決めて千葉県茂原市在住の平山三子(女子五段)と形の練習を重ねて居りましたが、その矢先突然その彼女が肺に水が溜って呼吸困難になり救急車で病院へ行きました。腎臓癌の末期、余命三ヶ月と医師が診断し御主人に告げられました。あんなに元気でフランス行を楽しみに稽古していたのにと何度思っても事実は事実、告知はされておりませんでした。自分が日に日に悪くなる一方の自分を感じたのか、大会は欠場するけれど私には誰か相手を探して自分の分も頑張ってきて欲しい、とのメールが入りました。

急遽、日本マスターズで一緒にした岐阜県の黒田美千子さんに事情を話したところ数日して秋田県の今立篤子さん、愛知県の大宮民子さん共々三人で平山さんの代役を

引受けるという返事が届きました。日曜日になるのを待ってすぐに千葉へ行き平山さんに報告しましたが私の目だけはしっかり見てくれ、うん、うん、とうなづきとても苦しうにしていまして。それが



左が平山さん、右が長崎理事(1998年)

四子)さんと出会って五十年かけがえのない友が入院七十五日目、四月三十日昇天しました。享年六十才。

トウルへ発つ前お墓参りをし出発を告げ写真を持っていききました。遠くから彼女が見守ってくれていたようなそんな気がする此の度のフランスでした。平山さんの代役を引受けて下さった御三方に感謝申し上げますと共にツアーでお世話になりました。

た会員の皆様に御礼申し上げる次第です。有難度う御座居ました。

「修学旅行として行くうー!!」

大宮 民子

(会員 愛知県)

石川県、愛知県、秋田県、岐阜県、4名の女子柔道の仲間がフランス・トウルに来ています。

最初は、石川県の長崎桂子

先生が、親友の千葉県の平山三四子さんとペアを組み参加する予定でした。

ところが三四子さんは突然病に倒れ、行けなくなった事を気にされ是非でも行つてほしいと病室から電話されてきたそうです。

長崎先生からの連絡を受けて私たち柔道仲間は世界マスターズ柔道大会に向けて動き出しました。

都合がつかない仲間もあり今回は4人が行くことになりました。4人総当たりとし、実施する形を決め集結しては稽古してきました。

そんな中、三四子さんは治療



大宮さんの大切な瀬戸柔道会の子供たちと一緒に(添書きに「彼女らに支えられております」の一文)

空しく他界されてしまいました。...

「三四ちゃんも来た。」長崎先生の想いは2馬力でした。

日本の柔道家が活躍し、笑顔と涙で表彰台に立つ姿は感動でした。

皆さんここまでくる事にそれぞれの想いがあられた事でしょう。

初対面の先生方ともそんな場から一気に距離が近づきました。

柔道着が似合う先生方、稽古が始まると夢中になれる人たちが、柔道の話、柔道の歌、柔道家としての生き方、社会

人として、柔道の先生として得るものは限りなく...。そして親善大使として柔道大会、柔道の旅を支える奥

様たち、居心地の良い空間でした。武道家として凛々しいけれど、ニースの海岸で古式ゆかしい日本の下着

(?)やトランクスを水着に代用したり、ヤンチャな一面を見せる先生

方、見るもの、聞くもの、体験したり、に感動し歌いだす感性豊かな先生、旅の車中は笑いがいっぱいでした。世界マスターズ大会は真剣でした。

世界遺産は驚愕でした。

フランスでの柔道交流は81歳の先生を頭にダイナミックな技をみせつけられました。

(この人達、怪物だ!)

フランスの文化、遺産、美術品、経験した出来事、知り合えた柔道家、親善大使、私の世界が大きく広がりましたフランスは凄い!マスターズの企画は凄い!

「修学旅行」は凄かった!

世界マスターズの旅

今立 篤子

(会員 秋田県)

パリから新幹線で2時間、ツアーの一行はトウルに到着しました。翌日、受付にて選手登録しましたが、言葉が通じず手振り身振りでちよつと戸惑いました。試合場は3試合場ずつ2会場に別れており、行ったり来たりで明日からの大会が思いやられました。初日は形の競技会で、私達

女子4人はそれぞれエントリールした形に挑みました。私の場合、固の形1位・古式の形2位・柔の形3位と好成績で、とても嬉しかったです。

私と長崎桂子さんは、女子の試合にも参加しました。試合の直前にフランス人3名と私の計4名のリーグ戦になることがわかり、日本では考えられないのんびりな進行でした。相手と組んだ途端にももの凄いい力に圧倒され、懐が深くても届きそうもなく、抑込みで一本、払腰で一本取られあえなく2敗。最後の試合だけは巴投げで有効、抑込みで一本を取り、ようやく一勝しました。長崎さんは2勝1敗とのことで、お互いに怪我がなくてよかったし、よい経験になったと笑い会いました。

大会が終わり、世界遺産などを観光しながら南フランスへと移動しました。サンテティエンヌの道場では、女子4人で柔の形を演武しました。全員で乱捕り稽古後、野外で懇親会があり、ワインや焼肉が



パリの日本大使館で柔の形を演じる今立さん(取)、受は長崎さん

あつというまになくなり、楽しく長い夜が更けていきました。

地中海ニースの夜は、向かいの2階で見ていたマダムが、日本人のバカ騒ぎにつられて一緒に手拍子？してくるほど盛り上がりました。本当はこれからが本番なのですが、みんな疲れてお開きになりました。

パリに戻ると、すぐ道場に向かい二度目の柔道交流をしました。パリで印象深かったのは、ルーブル美術館・ヴェルサイユ宮殿、そしてムーラールジュの夜でした。

最終日には日本文化会館と在仏日本大使館を訪問しまし

た。大理石の上で、私と長崎さんとで柔の形をとっても緊張しながらやらせていただきました。皆様のおかげで、愉快で思い出深い旅を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

「折り紙・外交? Inパリ」

清家 初枝

(監事・春夫氏夫人 千葉県) きっかけは、公園で休んでいるときです。

隣りベンチのカップルの男性が、声を掛けてくれたのです。私が愛用しているハンカチが「落ちてるよ。」(もちろんフランス語で。)アララ、足元にあるではありませんか。「メルシー」… 何か、もの足り無い。「そうだ、折りづるを差し上げよう。」

アー千代紙、持つて無い。何かないかなあ、メモ用紙がありました。正方形に切り代用、別れ際にプレゼント。二人は、大変喜んで下さったのです。これって、チョッピリ外交?

どこかの虫が鳴き出しました。そろそろランチタイム。あこがれのシャンゼリゼ通

りの店で、本日のオススメを、いただきます。なんとなく視線を感じ目をやると美しいマドマアゼル(マダムかも?)三人組。微笑んで私を見ています。私もニコッ、ランチマットの紙で、セッセと折ります。最初は普通の大きさ、次に中位、そして最後は、ミニブル。「ハイ、ドゥゾ」大きな瞳を見開き、パチクリ、ピックリ大喜び、私もピックリ大喜び、互いに「メルシー」「めるしい」最高の昼食となったのです。

さあ、ホテルにもどりましょう。雲行きが怪しい。カフェでドリンク、隣の席には、二組の親子(ママと男の子)。

サア、外交? メモ用紙を取り出し、ツルを折り男の子に渡すと、珍し気に手の上へ乗せる。氣にいった様子。ママは、私の腕を「グッ」と、引き寄せ感謝のジェスチャー。言葉は、わから無い、でも、ママが言いたい事、わかります。子供達は、交互にタッチを要求します。

「君達は、イイヤツダ」と。(タブン) 後髪を引かれたっつ、バイバイ。暑いし、歩

くのイヤダナアゝの私、折

り紙のおかげで元氣百倍、疲れもなんのその。

とうとう、フランスとも別れの日、おみやげをと、洋品雑貨店へ。アゝでも無い、コゝでも無いと、物色中。かわいいマドマアゼルと目が合う。ここは、やはり折りツル登場でしょ。チョッピリ外交です。「ウレシイ!」とほっぺに、チュツ、チュツ、(初体験!)パリよサラバ、空港での待ち時間、千代紙でフーセンを折る。四大家族発見。(パパ、ママ、姉、弟) ママへ手渡す。空気を入れてと、身振り手振り、「ふーふー」「フーフー」平らな紙がふくらむ不思議、「ポー」お嬢さんへ「オー!」



ドゴール空港で折り紙外交の清家夫人

折り紙外交開始。美しい千代紙と一緒にツルを、こうして、あーしてと、折ってゆく。いつの間にか、ギャラリーの輪、奴さんを折り上げた所で、もはや旅立。家族は、アフリカ、私は日本。一枚の紙でもコミニケーションは取れるのね。

搭乗開始。その時、なんと、先程のお嬢さん、パパと私を捜して来たのです。「奴さん」「ワタシモ、デキタヨ！」て、まあ、わざわざ見せに来てくれたのね。ありがとう。メルシー！ 良い旅を、バア！イ、さようなら。

折り紙外交の旅は、まだまだ続く・・・？
もの言わぬ
折りヅル嬉し
パリの空
童と共に
広がる笑顔
峰二三

楽しい草の根外交

福盛田 立明

(理事 神奈川県)

1938年エジプトのカイロにおける国際オリンピック委員会、嘉納治五郎師範が、第12回オリンピック(194



柔道クラブ・ドウ・ラ・ロワールでの合同稽古後の屋外パーティで。中央が福盛田さん

4年)の開催地を東京にする決議に多大な貢献をしたものの、帰路氷川丸の船上で亡くなったことは、幻の東京オリンピックと共に今や人々の記憶から薄れていきます。

私は、1938年横浜生まれの、横浜育ち。横浜港山下公園に繋留されている氷川丸を見るたびに、このことを思います。そして、生涯柔道に励みたいと思いを新たにしております。

世界マスターズ柔道大会のツアーには第6回ウィーン大会から参加しておりますが、このツアーの持ついわゆる草の根外交の意義は計り知れない

と思います。今回のツアーでは、安本先生のご尽力でサンテイエヌヌとパリの道場を訪問できましたが、合同練習後の懇親会は実に思い出深いものでした。

とくに、サンテイエヌヌの柔道クラブ・ドウ・ラ・ロワール(1949年創立)では、夏休みに入る前の武道全体の稽古納めの日に当たり、ボクシングや合気道の人々とも酒を酌み交わし、楽しい交流を満喫できました。終わってからも何人もバスまで見送りに来てくれました。メルスイ、ボークー。オ・ルヴォワール！

トゥール大会に参加して

高橋 勘十

(相談役 岩手県)

大会に向かって参加したのですが、大会に先立ってのロワールの古城めぐり、大会が終わってからのモン・サン・ミッシェルの日帰り観光から始まりニースに至る、フランスを縦断して歴訪する豪華な世界遺産の数々に圧倒され、

相対的に柔道大会の印象は薄められ、観光優位の印象を濃くしていますが、大きな収穫に満足しています。

サンテイエヌヌやパリでの合同稽古や懇親会では、フランス柔道の熱気を膚で感じ、思いをあらたにして帰って来ました。

パリ日本文化会館を訪問した時のことです。日本文化紹介の書籍コーナーに、兄の富雄の著書が並べられてあるのを見てびっくりしました。中公新書の「徳一と最澄」と「征夷大將軍」の2冊があったのです。まさか、フランスに来て、兄の本に出会うなどとは夢にも思っていなかったから驚いたのです。と同時に思ったのは、郷土岩手の偉大なる先達、新渡戸稲造が「武士道」は「日本の心」だと世に紹介していることです。それならば、それにならって、兄の本であるならば、ここには兄の前述の二冊もさることながら、「武士道の歴史」全三巻(新人物往来社)とそして、「武士の心 日本」の心」上下二巻(近藤出版社)



パリ日本文化会館屋上で。左最後列が高橋さん

が似つかわしいのではと思っただけでした。両著書とも、日本武道館月刊誌「武道」に、前著書は五十四回にわたり、後著書は四十八回にわたって連載されたものです。帰ってから、このような感想を兄に話したところ、「そのような立派なところには、名の通った出版社からのものでないと、ふさわしくないの」と笑っていました。

兄は私より九歳年上で、文学博士、東北大学名誉教授で、この間まで、盛岡大学学長や福島県立博物館の館長をしていました。仙台在住で健在です。

ミラノ・トゥール大会 奮戦記

杉原 尚

(理事 茨城県)

6月14日(水) 日本マスターズ柔道の皆さんとは別行動で、一足先にジャコモさんが待つミラノへ飛んだ。

マルペンサ空港には、奥様の伊藤恭子さんが出迎えてくれた。途中まで電車で下車駅にはジャコモさんが車で迎えに来てくれた。自宅に着いたのは午後九時ごろだった。ミラノの夜は未だ明るい。三人でワインで乾杯、懇談の中ジャコモさんに最初の質問をした。柔道に励んでいる人は五万といるが、その中でなぜ私を極の形のパートナーに選んだのか聞いてみた。

返ってきた答は三年前のこと、講道館夏期講習会で杉原先生とペアを組んで学んだ事がある。それは気魄と迫力のある演技、力強さ等である。

これが真剣勝負の形と言われる『極の形』なんだと言う事を学んだ。それから、杉原先生とペアを組んで世界マスターズ柔道大会で金メダル(極の形)をとる事が念願だ

と言う。

これを聞いた私は、長い旅の疲れにワインのほろ酔い気分も吹っ飛び両肩にプレッシャーがのしかかっていた。

(一) 奥様と三人だけの稽古

ジャコモさんの道場は、学校の体育館の一部を有料で借り、そこにジャコモさんが買った30枚の畳を自分たちで敷いて柔道場に仕立てるのである。

正面には嘉納治五郎師範が在(います)が如く写真が飾られる。師範の前で二人は一生懸命稽古することとなった。

最初の稽古は、ジャコモさんの都合で少し遅れて19日(月)になった。この日は32度を越す暑さだった。午後四時から七時まで稽古、技のすり合せ、呼吸合せが大半だった。奥さんの通訳のもと何回も何回も

すり合せ、奥さんの意見等も聞きながら進めていった。

最後は通して一回ビデオ撮りを行い、夕食後はビデオを再生し、3人でデスクアッションをして次回に生かした。

このような稽古は20日(火)・

22日(木)・23日(金)と四日間行った。平素の道場風景であれば子供達の稽古もあっただろうに、夏休みに入り子供達の稽古風景を見ることはできなかった。

(二) 奥さんの内助の功

奥さんには大変お世話になった。食事、洗濯、通訳、観光案内、マネージャー等すべての点でお世話になった。夫が金メダルをとる為と言えどもそれまでがなかなか出来ることではない。余り面識のない他人様を家に呼んで家族同様

そば(日本・中華)、フライ、天ぷらと大変に気遣ってくれた。

パリやトゥールの宿泊中の食事にしても、お寿司屋さんや中華料理店等を案内してくれた。

6月16日(金)イタリアに於けるインターナショナル大会でもヨーロッパ柔道連合会のカペレティさんやイタリア柔道協会のゴッビーさんとの挨拶でもご紹介と通訳をしていただいた。

私はこの大会を会場正面難壇に案内され観戦する機会をいただいた。ジャコモさんは極の形に出場(ジャコモ・ルカ組)、準優勝してイタリアの形の代表選手に選ばれたのである。

(三) トゥールでもたらされた幸運

6月26日(月)早朝小雨の中アウストリッツ発の電車です。パリからトゥールへ向った。ホテルへ着いたのは午前10時、荷物を預けて大会場へ急行。11時から稽古を開始した。午後3時にはホテルに戻りチェックインを済ませた。何んと縁起の良い事に部屋の番号と背番号が同じ(447)であった。

部屋に入り少し仮眠をして、再度稽古の為に大会場へ向った。

会場では、審判員の打ち合わせが行われていた。そこで極の形の模擬審査をする為の演技をするよう依頼された。

これは幸運と二人は稽古のつもりで又本番のつもりで力いっぱい演技をした。審判員の先生方も予想以上の高点を付けてくれた。

演技が終わった後、会場内の人々からベリーグッド、ベリーグッド、イチバン、イチバンと言う声が会場のあちこちから聞こえて来た。もしかして、明日は金メダルも夢ではないと思った。

(四) 競技と試合結果

最初の出場が固の形で、取り中島先生、受け杉原で演技開始、力いっぱい演技したがあまり良い結果が出なかった。19組中七位に終わった。中島先生には申し訳なく思った。今回は別行動の為に会場でのお話も稽古も余りできずジャコモさんとの極の形に力が偏り過ぎてしまった事を反省している。

固の形が終わる身体は温もりが未だ冷めやらぬうちに隣



極の形で、ジャコモ選手(伊)(左)と金を成し遂げた杉原選手(右)

お世話
するこ
とは大
変な気
遣いだ
たと思
う。食
事にし
ても、
ごはん
うどん、

りの試合場で極の形の出番が回って来た。取りジャコモさん受け杉原で演技、イタリアの形の代表選手になったジャコモさんの足を引張らないよう無心に演技をした。

結果は 審判員の平均点が194点で比較的高い点数がついた。場内からウオーと言う歓声と拍手がわきあがったので大変気を良くした。

自分達の点数を越える組がなければ優勝(金メダル)である。かたずを飲んでその時を静かに待った。その時が来た。22組中最高点で優勝(金メダル)である。ジャコモさんの思い通りになったのである。

今年の四月古希を迎え記念すべき節目の歳、思い出の多い飛躍の歳にすべくミラノやトゥール大会に臨んだ七十才にして初めての金メダルである。忘れえぬ一生の思い出となった。

我れはフクロウよ楽しき鼻務め果し 心さやか
今宵嬉し星明りに 我が古巢へ帰えらん——。

完

第8回世界マスターズ 決勝戦の思い出

勝呂 孝

(理事 埼玉県)

M8・60kgの決勝戦、日本人同士、興梠氏(六段)との試合は6月28日全試合の最終戦となった。残り二試合場の試合が終了し、全員がこちらを見つめている。

一礼して互いに組み合う。体格の違う相手、力を抜いてまずは出方を見る。頃合を見て向こうから飛び込んできた。



M8・60kg決勝で勝呂選手(右)が興梠選手(左)に有効

大内、小内刈と連続した早い動き。自分もこれを防いで左送り足払いなどで応酬する。引き手を生かした鋭い技がくる。自分は力を抜いた動きでこれにあわせる。一進一退の攻防が続く。

新聞に載った巴投げは試合の中ごろであつたと思う。横捨て身かあるいは巴投げが来るのは予想していた。左手をついてこれをかわす。この時観客から「オー」という歓声が上がったのを記憶している。結局、自分の送り足払いが「有効」となつて試合は終了した。審判が自分のほうに手を上げて勝を宣する。

両者一礼して引き下がるとき観客からいっせいに拍手が沸いた。これは大部分小柄な興梠氏の健闘をたたえる賛辞であつた。

二人の体格差、身長168対150cm、体重58対50kg。観客の欧州人から見れば驚くほど小柄な日本人が大きいほうへ果敢に攻め込む。こういう場合、人情として小さい方に声援が集まるのは東西変らない。大きい方はこの点不利である。

自分も小柄な相手は苦手

である。体重別などなかった時代、相手の懐に入つての背負い投げを得意としていた。自分より小さい相手と試合したという経験が余りなかった。普段の講道館の稽古も大抵大きい相手である。

双方とも力づくでなく姿勢正しく組み合つて正攻法に開始したのが良い印象を与えたのだらう。新聞記事が記すようにこれが観客に「驚き」と「感動」を与えたとしたら望外の喜びである。

興梠氏ありがとうございます。

マスターズ柔道 フランス大会に参加して

鬼柳 一宇

(理事 岩手県)

今回のフランス行きは、私共夫婦にとつては、初めての海外旅行でしたが、皆様のご配慮により、良い思い出を作ることが出来ました。本当に有難う御座いました。

私は仕事の都合により、途中のリヨンで日本選手団から離脱し、リヨン〜パリ〜名古屋〜花巻と乗り継ぎ、約20時間をかけて無事帰宅する事が

出来ました。

私の柔道歴は、21歳の時に千葉県柔道連盟所属で参段に昇段して以来、サラリーマン生活を経て郷里の岩手で独立創業し、中小企業経営者として悪戦苦闘した25年間は、全く柔道界から縁が切れていました。

然し40歳台半ばを過ぎた頃、子供が中学で柔道部に入部したのをきっかけに柔道を再開しました。その後四段、五段と昇段し50歳で初めて全国高段者大会に出場し、今年で16回目になります。

私の本業は現役の中小企業経営者であり、業務内容は北海道〜沖縄までの全国約3万



ツアー岩手県4人組、中央が鬼柳さんご夫妻

社の顧客に対し、24時間365日稼働体制により精密パーツを供給しています。

また海外事業としては、中国と北米で展開しています。昨年まで3年かけて中国現地法人立上を終えたところですが、現在は来春生産開始を目標に、西日本生産拠点を神戸市郊外に建設中です。

仕事の性質上、殆んど毎週国内外を回っており、柔道継続の為に修練はホテルでの腕立て伏せや、移動中の新幹線でのスクワットは欠かす事ができません。

私が追求している事業モデルは、国内外を問わず殆んど皆無の形態であり、未だ成長途上にあり理想の姿を模索しているところなんです。私は創業者として、この事業を更に強化し長期安定成長の基盤を築く責務があると考えています。また青春時代に若き血を燃やした柔道とも、生涯付き合っているような修練を続ける積りです。今回参加された、M9・M10・M11の先生方の矍鑠としたお姿を拝見し、大いに力付けられました。

会社がいれば最高齢者であり、年寄り扱いされがちです

が、今回の参加により「俺は未だ若い、あと10年や20年はやれる筈だ」と思うようになりました。

これからも、長期に亘り試合場に立ち続けられるよう、地道な努力を継続する積りです。ので何卒宜しくお願い致します。

出会い、虹のかけ橋

中島 忠
(理事 埼玉県)

「巻頭言」

野球が好きだから・・・
ユニホーム姿が大好き・・・
夢列車がどこにもたどりつかなかった・・・

野球を恋してるから・・・

萩本欽一氏談
私の柔道に対する思いも一緒である。

日本マスターズ柔道協会に出会い、マスターズ柔道世界大会連続4年出場はたせた事、益々熱中していく自分、日本大会も連続出場出来た事、これは何だろうと思う時、埼玉の寺沢道場を拠点とし、二金会、道友会、生涯柔道等に参加し、汗している柔道との出会いの毎日です。



表彰台で中島選手(左)と柔友がスル選手(独)

達柔道に出会い、暑い時も寒い時もめげず柔道衣を着て、柔友と健康に感謝し、マスターズ柔道で世界各国の柔道を志し、愛する者との出会い、行く先々の道場を訪問し共に稽古し、友情をつくり、深められる喜び、言葉や習慣の違いをこえて、柔道という一つの目的で溶け込める素晴らしさを体験し、見知らぬ友との出会いに感謝しています。柔道を愛し、汗する喜び、出会いの大切さ、これも健康に感謝し、柔道を通してのいろいろな出会いに感謝し、日々是正に柔道であります。 拝

諦めないでよかった

来田 武
(理事 香川県)

〇〇小学校の皆様
ボンジュール、ムッシュフランス語でおはようございます、です。私は先月の6月28日から30日までフランスツール市で開催されました第八回世界マスターズ柔道大会に出場しました。結果は胸にかけである銅メダルです。と、現在県保健体育課の嘱託をやっ

ていますスクールガードリーダーの小学生の前での安全講話の前置きです。あの時(3位決定戦)諦めなかったから小学生の前でツール市の柔道大会の話ができるのだ、諦めて・負けても誰にも怒られんワ・どうせ観光で来とんやから、フランスを楽しんだらえんやア

という考えが強かったなら、小学生に話はできませんでした。

諦めんでよかった

敗者復活戦にまわり、不戦勝などを含め6試合目の3位決定戦、返して技ありをとられ相手は守りに入るし、私自身も

いかなんア

と弱気になったところ、フランス迄応援に来てくれた平沼先生の

ギター お前このままで

終わるんかア

技を出せ かけろ！かけろ！

の声が聴こえた

そうや もうちよつと頑

張ってみよう

と右からの小内掛け(小内刈りを掛けられど、ビデオでは小内掛けになつとったワ)が技あり、その後効果ひとつ



表彰台 右から二人目が来田選手

の高校生男女に
負けたり終りでない。諦
めたら終りや。

と常々言うものの、初めて
自分の試合で実践でき、これ
からの人生に一つの芯になる
ものが増えました。

平沼先生ありがとうございます。

終りになりましたが、世界マ
スターズツール大会に参加し
た皆様、大変楽しい旅をご一
緒にさせて頂き本当にありが
とございました。

柔道王国フランスを体感

片桐 清司
(理事 滋賀県)

日本柔道が明治38年に渡っ
た国フランスを体感すること
ができた。

フランスの人口は6千2百
万人と日本のおよそ半分なが
ら、柔道人口たるや登録者数
で65万人を超え、未登録の愛
好者を含めると百万人に及ぶ
そうである。本家日本の登録
者数が20万人と比較すればい
かにフランスが柔道を愛する
国かがわかる。今回の第8回
世界マスターズ柔道inトゥー
ルに参加した私の目的の一つ

素晴らしいじゃないです
か、よくやりましたね
と称えてくれました。
アアよかった
参加した。というよりも、三
位だったんですと。と言える
のは平沼先生の応援に励まさ
れ
諦めんかった
からです。試合で負けた母校

は、フランスで根付く日本の
柔道をこの目で確かめること
であった。

果たして、フランスに到着
してトゥール市の大会会場は
千名を遥かに超えるという参
加者の熱気で埋まり、登録、
軽量、サブ道場での練習とス
ケジュールをこなしていく内
に日本の柔道大会と何等変わ
らない雰囲気、ひしひしと
柔道王国の実感が深まってい
った。そんな中、会場で出会う
人々が日本人とわかると「オー、
ジャポン!」「JUDO!」

を連発し、握手を求めてきた。
サブ道場で同じ滋賀県から参
加した日本チーム最年少のホー
プ松本 淳四段(35才・ブラ
ジル出身)と打ち込み練習を
しているときでも、周囲のほ
とんどの眼がわれわれ二人の
日本人の動作に注がれている
のを感じた。二人とも、ここ
での試合には負けられないし、
何よりも恥ずかしい試合はで
きないなと本家の責任のよう
なものを感した。

(私の試合)
私の参加するM6(55〜59
才)81kg級の試合では出場者
が8名と少なく、トーナメン
トを2回勝ち上がった決勝

戦だなど思っていた。一回戦
は第6回ウィーン大会の二回
戦で戦ったことのあるドイツ
人で、当初相手の腕力に押さ
れて組み負けしそうになり技
のでない私に「指導」がきた。
中盤、相手の右足が右に移動
した利那をとらえ、引き手で
やや引き出し気味にし回り込
んで体落としを放つと大柄な
相手は宙を舞い、一本を取る
ことができた。これが、日本
選手団で最初の勝利となり日
本チームが勢いづいたと後で
聞きうれしく思った。続く2
回戦のイタリア人も得意の体
落としで一本勝ちを収めるこ
とができた。いずれの勝利も、
前日の会場練習の折、世界マ
スターズ無敵の高橋八段から
釣り手の肩を痛めた場合、回
り込んでの
体落としを
指導しても
らったその
お陰であつ
た。これで
残す決勝戦
は夕方5時
からとなつ
ており、昼
食でも思っ
ていたら館

内放送で「カタギリ ジャポ
ン」の呼び出しがあった。
本部席にて確かめるとトーナ
メント表に地元フランス人選
手が一名加わっており、私と
もう一回準決勝戦を戦うよう
になっていた。それまでの勝
利で勢いづいていた私は「仕
方ないな。もう一本決めてや
るか。」とタカを食って試合
場に立った。ところが、いざ
組んでみると相手は非常に厳
しい組み手で腕力があり、動
きも速かった。場外際のとこ
ろでもうすぐ「指導」が来る
なと思ったときに相手が右へ
動いたので私は十分に崩さな
いまま強引に体落としにもつ
ていったところ、相手は待っ
てましたとばかりにタイミング
良く私の後ろに回り込んで

2006年、平成18年、7月15日

片桐さん(高)銅メダル

第8回世界マスターズ柔道inトゥール大会で、フランス代表として出場し、M6(55〜59才)81kg級の試合で、地元フランス人選手と対戦し、一本勝ちを収め、銅メダルを獲得した。

片桐さんは、滋賀県出身で、柔道部で活躍し、現在は、滋賀県柔道連盟の指導者として活動中。

第3回 日本マスターズ柔道大会開催要綱

主管：岡山県柔道連盟

主催：日本マスターズ柔道協会

後援：厚生労働省 文部科学省

(財)全日本柔道連盟 (財)講道館

日程：2006年10月13日(金)～15日(日)

会場：岡山武道館

〒700-0012 岡山市いずみ町2-1-8

TEL:086-253-3141

競技種目：

形 (投、固、極、柔、護身、五、古式)

男女個人戦 (IJF体重別、年齢別*)

無差別個人戦 (年齢別*) *5才間隔

団体戦 男子10人戦 30, 40, 50, 60, 70代各2人

女子3人戦 年齢制限無

申込締切：9月15日(金)

申込み方法等の問合せ先：大会事務局

岡山県柔道連盟 事務局 担当 三宅 裕

TEL:086-254-3738 FAX:086-254-3738

裏投げに入った。私は「しまった。」と思いつつ投げられまいたと体をひねって逃れようとしたがそのスピードに追いつけず私の体は宙を舞い主審の「一本」が告げられて結局私は銅メダルに終わってしまった。私を破った相手がフランス人であり、ここでも柔道王国フランスを体感した次第である。

(今後の目標)
試合の翌日、地元新聞「ラ・ヌーヴェル・レピュブリック」紙には、65才以上M8級の日本人同士による決勝戦の写真を大きく掲載し「試合を通じて感じたことは、驚きであり驚嘆以外に表す言葉がない。特に、日本人同士による高齢者の決勝戦では「精力善用」の柔道の精神が遺憾なく発揮されていた。フランス柔道連盟はこれまでこの大会には熱心に取り組んでこなかったが、日本では生涯スポーツとして高段者大会等を通じて益々盛んであり、これを契機にフランスでもこの大会を発展させるべく努力していくべきである。」(安本氏訳)と一面トップに掲載していた。

今年の日本マスターズ柔道大会は本年第3回目を迎え10月13日～15日、岡山で開催される運びであるが、フランスで範を示された高齢日本柔道家の一層のご活躍が楽しみであり、生涯柔道を目指し来年還暦を迎える小生にとっても大きな目標の一つである。(もう一つの目標)

これほどまでに素晴らしい日本の伝統文化である柔道を、日本の子供達に更に力説して伝える使命があることを強く確信した。今回のフランス旅行では試合後に早稲田大学OBの安本総一氏らが指導されたきた2つの柔道場を訪問した。サンテインヌのロワール道場とパリのロジャールピス道場である。いずれの道場も少年から中年まで多数の愛好者による稽古で心地よい汗を流し、交流親善を深めた。日本にもこれだけの年齢層の愛好者が集まってくれたらとうらやましく思えたのは私ばかりではなかったと思う。

ここで体感した日本伝講道

最後に、このように素晴らしい企画で導いて下さる日本マスターズ柔道協会の野口会長様をはじめ、試合で痛めた私の指を心を込め治療していただいた森本先生、私の技を指導していただいた高橋八段及び同行の諸先生方、旅行中通訳で活躍してくれた次期開催地ブラジルの出身で滋賀のホープ松本四段並びに今回、老人会のフランス旅行よりも「柔道の試合を見たい。」として私に同伴してくれた岳父高橋武男(78才)に深く感謝したい。



編集後記

今回は第8回大会の特集号となりました。まず、長崎さんのお便りでご紹介のありました故平山三四子さんのご冥福をお祈りしたいと思います。さぞ、フランスで表彰台に立たれたかったことでしょう。ただ、その強いお気持ち、日本から過去最多の女性陣の参加となり、大会に新風を巻き起こしました。

世界マスターズ柔道の意義の中に、国際交流・草の根外交があります。今大会では形でイタリアと日本、日本とフランスのペアが参加し、しかもどちらも金メダルに輝くという素晴らしい事が起こりました。

国内の大会では、家族・親戚・旧友・地元の人々等々、裾野の広がり大きな効果が現れてくるものと期待されます。次号では、岡山大会の熱戦結果とともに、この点についても幅広く会員の皆様からのお便りがいただけたらと願っております。(K・N)

(題字は野口会長の揮毫です)